

## 113 盈進学園東野高校・体育館

埼玉県 建築設計—C.アレグザンダー、環境構造センター 構造設計—磐田正晴

木造，地上1階建，1987年

体育館の架構間隔は3.6mで，内柱間のスパン16.2mである。

陸梁の中央をとった形であり，このため各材は軸力以外に曲げとせん断力を受ける。米松を使用している。

左：アリーナ1

右上：1階平面(S=1/630)

右下：断面(S=1/630)

撮影：大橋富夫

